

内容は水産研究課ホームページでも公開しています。
更新は、原則として火曜日夜間におこないます。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

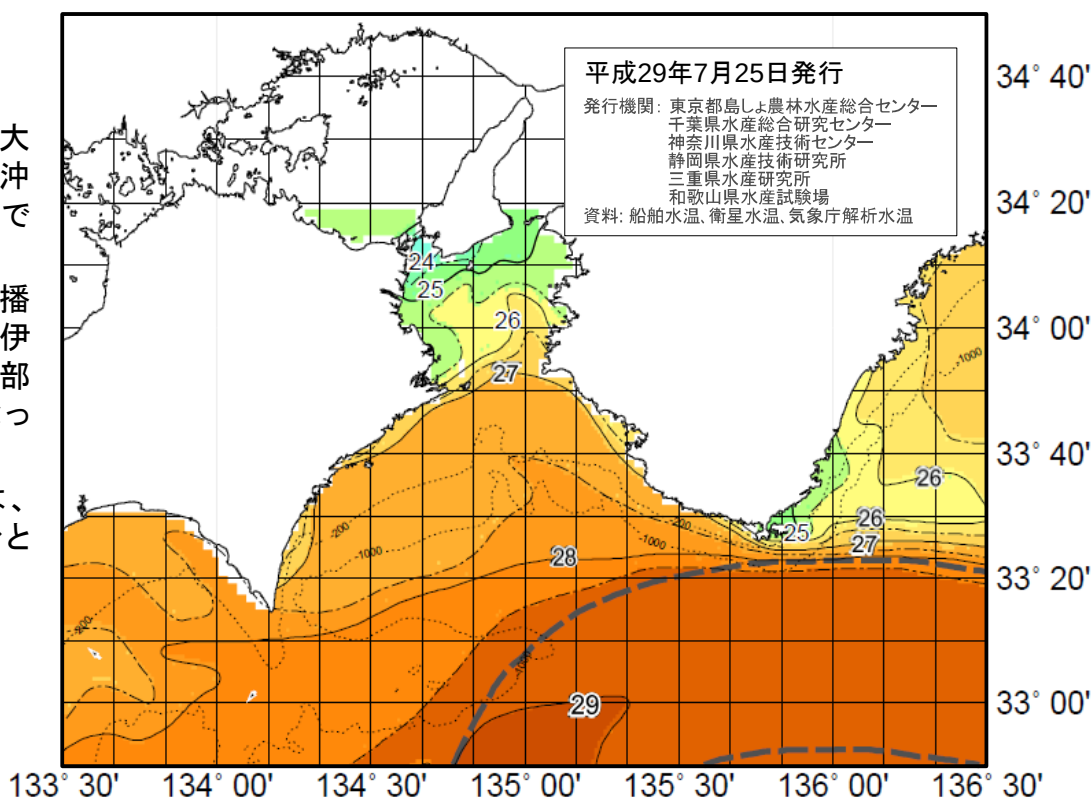
海況

1. 周辺海域の水温

黒潮は、九州・四国沖で大きく離岸しており、室戸岬沖では「著しく離岸」、潮岬沖では「接岸」となっている。

徳島県沿岸の水温は、播磨灘で24℃～26℃台、紀伊水道で24℃～26℃台、海部沿岸で26℃～27℃台となっている。

黒潮本流の表面水温は、平年並みの28℃～29℃台となっている。

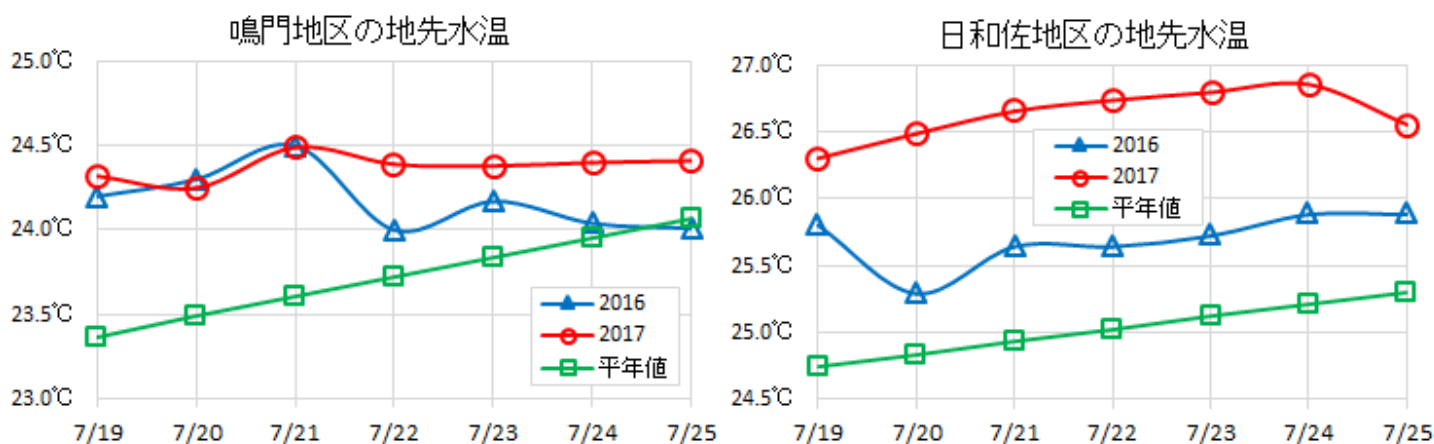


海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

2. 地先水温(7月19日～7月25日)

鳴門地区の地先水温は、24.2℃～24.5℃とほぼ横ばいで、期間半ばまで「やや高め」であったが24日以降は「平年並み」となっている。

日和佐地区の地先水温は、「高め」の26.3℃～26.9℃で右肩上がりに推移したのち、25日にはやや下がって「やや高め」の26.6℃となっている。



※水温の高低 平年並：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 鳴門地区：1981年～2015年の平滑平均値、日和佐地区：1982年～2015年の平滑平均値

3. 週間予報(7月26日～8月1日)

黒潮は、室戸岬沖では引き続き「著しく離岸」、潮岬沖では離岸傾向で「接岸」のち「離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門では、「平年並み」～「やや高め」の24℃台後半～25℃台、日和佐地区では「やや高め」の26℃台で推移する見込み。

漁況 2017年7月17日～7月23日(旧暦閏5月24日～6月1日)

1. 紀伊水道(標本漁協数:3)

船びき網では、シラスが減って169ト水揚げされた。

釣りでは、イサキが増えて大主体に0.6ト、タチウオが大きく減って特大主体に0.3ト水揚げされた。

延縄では、ハモが前週並みの6.9ト、タチウオが特大主体に2.3ト、サワラが大きく増えて0.3ト水揚げされた。

小型定置網では、イサキが大きく増えて大主体に1.5ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが前週並みの12ト水揚げされた。

2. 海部沿岸(標本漁協数:4)

釣りでは、マルソウダが大きく増えて0.4ト、イサキが増えて大主体に0.2ト水揚げされた。

延縄では、アカムツが前週並みの0.7ト、カサゴが特大主体に増えて0.6ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが少々主体に前週並みの0.4ト、かます類が小小主体に前週並みの0.3ト、カンパチが大きく増えて0.3ト水揚げされた。

漁獲量集計表(漁獲が0.1ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量 (kg)		銘柄	前週比※
				1日1隻あたり 平均漁獲量			
紀伊水道	船びき網	162	シラス	168,750	1,042		↘
	釣り	28	イサキ	553	20	大主体	↗
		35	タチウオ	295	8	特大主体	↘↘
	延縄	81	ハモ	6,883	85		→
		84	タチウオ	2,329	28	特大主体	→
		22	サワラ	288	13		↗↗
	小型定置網	38	イサキ	1,514	40	大主体	↗↗
		27	マアジ	289	11	小小主体	→
		39	ブリ	242	6	小小主体	↗↗
		32	マダイ	212	7		↗↗
	底びき網	42	カワハギ	203	5	大主体	↗
		64	ハモ	12,208	191		→
		41	えそ類	599	15		→
		45	いとより類	201	4		↘↘
海部沿岸	釣り	36	タチウオ	143	4		↘↘
		20	マルソウダ	423	21		↗↗
	延縄	29	イサキ	194	7	大主体	↗
		53	アカムツ	694	13		→
		14	カサゴ	629	45	特大主体	↗
		26	キダイ	124	5		→
		24	いとより類	115	5	大主体	→
		24	マアジ	392	12	小小主体	→
	小型定置網	22	かます類	313	14	小小主体	→
		17	カンパチ	271	16		↗↗
7		ウルメイワシ	151	22		↘↘	

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘